

第2のオモテをつくる木密のもうひとつの屋根型



私生活が道に溢れ出すような木密独特の風景は改築によってさらに豊かなコミュニケーションスペースになる。 防災の為の改築によるスペースが日常的に使われることで防災意識も育んでいく 断面図 S=1:50

CONCEPT : 小さな改築が集合することで大きく街を改善する

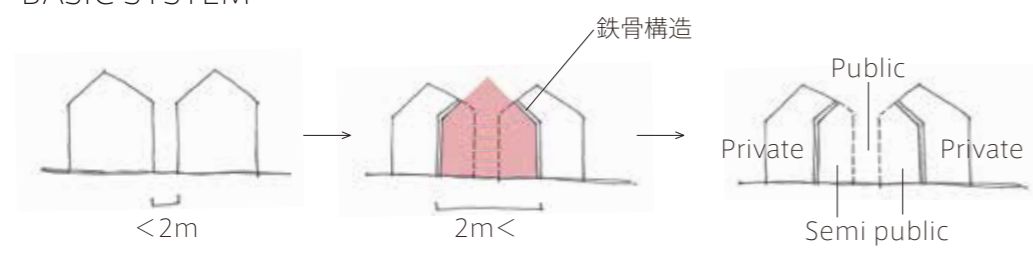
木造密集市街地の魅力を損なわずに街全体を防災する小さな改築の集合を提案します。

密集市街地であることを生かすには「小さな家が密集していること」を上手く使うことだと解釈し、それぞれの家を減築するように屋根型を挿入しスペースをつくり出すことで外部空間を拡張しながら内部とのつながりをつくり、さらに防火、耐震、避難動線の役割を担います。

街の魅力を倍増させるような改築によって、街のつながりを守りながら街を防災します。

SYSTEM DIAGRAM : 挿入する屋根型

・ BASIC SYSTEM

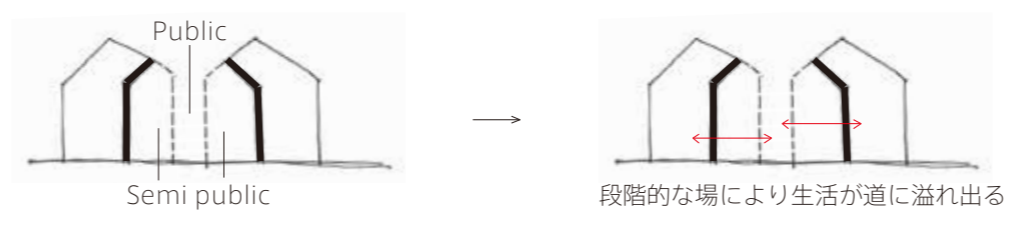


2軒の家をまたぐような見せかけの屋根型を減築によって作り出す。幅員を広げながら場のグラデーションをつくる。

・ 耐震・防火



・ コミュニティスペース



・ 緊急避難時



SITE : 横浜市西区西戸部 延焼危険区域



私生活が道に溢れ出る木密特有の豊かな風景。